

第2学年 国語科（書写）学習指導案

第2学年 23名

指導者 福本 淳子

黒田 京子

青木 美恵

1 単 元 かん字の 学しゅう

2 単元について

本学級の児童は、書写学習に意欲的に取り組む児童が多い。6月に行った書写に関するアンケート調査では、ほぼ全員が「文字を書くことが好き」だと答え、「字を書くことが上手になりたい」という願いをもっていることが分かった。その理由として「今よりも、もっときれいに書けるようになりたい」「家族や先生にほめられたい」「みんなのようにきれいに書けるようになりたい」などが挙げられていた。しかし、「自分の書いた文字は好きですか」の質問では、否定的な意見も見られ、「もっとうまく書きたい」「自分の文字はうまくない」と、自分の文字への自信のなさがかがえた。これらのことから、児童一人一人が自他の成長を感じ、自信を育む書写学習を進めていきたいと考える。

本単元では、1年生で学習した漢字の始筆・送筆・終筆の書き方や前単元の片仮名の学習を生かして、漢字の字形を整えて書くための重要な要素を学習する。漢字の書き順や画の方向、画の長さ、画と画との間、画のつき方と交わり方などの学習を通して、児童が点画どうしの関係を理解し、字形を整えられるようにしたい。さらに、文字の中心や文字の形の学習では、全体としてのバランスのとり方を学び、日常生活での招待状やお礼の手紙、年賀状を書く活動につなげていきたい。

本時では、「文字の中心」を学習する。前時に学習した「たて画」が中心にある文字や「書き出し」が中心から始まる文字について確認し、1年生に送る招待状に用いる文字を取り上げ、「文字の中心」を意識して漢字を見たり書いたりさせたい。その方法として分解文字などの教具を活用し、児童に視覚的に示す手立てとする。また、児童に自分のめあてをしっかりとつかませ、練習方法を選択できるように場を設定することで、主体的な学びにつなげたい。さらに、友達と学び合う中で自他の成長を実感し、書くことの楽しさを味わうことができるように、自己評価や相互評価の場を取り入れていく。自分の成長に気付くことで文字を書くことに対する自信や喜びにつなげたい。そして、書くことを楽しみ、学習や日常生活に進んで生かしていこうとする意欲や態度を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 漢字の書き順や画の方向、画の長さ、画と画との間、画のつき方・交わり方、文字の中心などの字形の整え方を理解して、字形を整えて書くことができる。
- (2) 字形や書き方の似ている文字に気を付けて、正しく書くことができる。
- (3) 自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとする。

4 単元の評価規準

ア	知識・技能	① 漢字の書き順や画の方向、画の長さ、画と画との間、画のつき方・交わり方、文字の中心などの字形の整え方を理解して、正しく書いている。 ② 字形や書き方の似ている文字に気を付けて正しく書いている。
イ	主体的に学習に取り組む態度	① 自分のめあてをもち、意欲的に取り組もうとしている。 ② 自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとしている。

5 単元の指導計画（23時間）

第一次	書きじゅん・・・・・・・・・・	2時間	第五次	文字の中心・・・・・・・・・・	2時間(本時2/2)
第二次	画の方こう・・・・・・・・・・	3時間	第六次	よこ書きの書き方・・・・	1時間
第三次	画の長さ、画と画との間・・	3時間	第七次	年がじょうと書きぞめ・・	5時間
第四次	画のつき方と交わり方・・	4時間	第八次	文字の形・・・・・・・・・・	3時間

6 本時の学習

(1) 目標

- 文字の中心に気を付けて、いろいろな文字を書くことができる。
- 自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとする。

(2) 展開

過程	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時のめあてをつかむ。	1 本時の学習のめあてをつかませる。	
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">一</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">年</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 5px;">楽</div> </div>	文字の中心に気を付けて、いろいろな文字を書こう。	
高める	2 自分のめあてに向かって練習する。 ・自分のめあてに合った練習方法を選び、練習する。	2 めあてに合った練習ができるように支援する。 ・練習用紙 ・分解文字 ・ホワイトボード ・砂文字 ・水書シート	ア①文字の中心に気を付けて正しく書いている。(観察)
確かめる	3 本時のまとめをする。 ・まとめ書きをする。 ・自己評価や相互評価をする。	3 自分のめあてを意識できるように助言する。 ・ICTを活用し、文字の変容を共有したりよさを伝えたりする。	イ②自分や友達のよさを見つけて伝え合おうとしている。(発言・観察)
生かす	4 学習したことを生かす。	4 本時の振り返りをし、次時の学習への意欲を高める。	

(3) 評価及び指導

① 「十分満足できる」と判断される状況

ア①	文字の中心に気を付けて、いろいろな文字を正しく整えて書いている。
イ②	自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとしている。

② 「おおむね満足できる」状況を実現できるための具体的な指導（手立て）

ア①	練習用紙や分解文字などを使い、文字の中心が視覚的に分かるようにする。
イ②	めあてを確認し、自分や友達の文字のよさを見つけれられるように助言する。